

小林市立病院経営強化プラン2024-2027 点検・評価票

R6

上期

【R6 上半期 詳細】

■医療機能や医療の質、連携の強化等にかかる数値目標【第4章.1.(4)】

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
1	新入院患者数	人/月	162	150	188.00	160.00	125%	S
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
<p>地域医療支援病院の責務を果たすため、二次医療（精密検査・手術等）に特化した診療を行っている。一般外来を制限（紹介診療を基本）して診療を行っているため、救急患者や他院からの紹介等による患者確保に取り組んでいる。</p> <p>6年度上半期においては、6月末から7月末にかけて入院患者が日当たり100人に近づくなど患者数が増えたもののお盆を境に患者数が少しずつ減少傾向にある状況である。</p>				<p>新入院患者数については、目標値を若干上回る数値で推移している。これは、6月から7月にかけて入院患者が一時的に増えた事が要因となっている。</p> <p>下半期についても、計画値を上回るよう入院患者増となるよう取り組んでいく。</p>				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
2	救急車受入件数	件/年	844	850	477.00	900.00	112%	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
<p>救急科・総合診療科を中心に、緊急度の高い患者の受け入れを積極的に行っている。</p> <p>令和6年度上半期における救急車受入件数は477件で推移している。</p>				<p>救急車の受入件数については、上半期の件数を維持しつつ、より入院加療が必要となる患者の受け入れを管内救急隊と連携しながら入院患者の増にも寄与するよう取り組んでいく。</p>				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
5	手術件数	件/年	522	530	275.00	530.00	103%	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
<p>手術においては、腹腔鏡を用いた手術を積極的に行っている。</p> <p>令和6年度上半期における病院全体の手術件数においては、275件である。</p> <p>※うち、腹腔鏡下手術件数 75件</p>				<p>手術件数についても目標値をわずかに超える件数で推移している。</p> <p>手術件数が入院患者の増減に大きく影響するため、本数値を注視しながら目標値をクリアできるよう取り組んでいく。</p>				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
6	全身麻酔手術数	件/年	470	480	230.00	460.00	0.96	B
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
<p>令和6年度上半期における全身麻酔手術数においては230件で、目標値をわずかに下回っている。</p>				<p>手術の質に関わる部分であるが、手術件数と同様に、目標値をクリアできるよう取り組んでいく。</p>				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
8	在宅復帰率：急性期一般病棟入院料1	%	92%	92%	92%	92%	100%	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
<p>一般病棟の在宅復帰率においては、地域包括ケア病棟の活用や、令和6年7月に開設した訪問看護ステーションを活用しながら在宅復帰率の向上に努めている。</p> <p>令和6年度上半期における在宅復帰率については91.9%で概ね目標を達成している。</p>				<p>現状の運用を継続しながら、目標達成に向け引き続き取り組んでいく。</p>				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
9	在宅復帰率：地域包括ケア病棟入院料2	%	94%	94%	90%	94%	100%	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
<p>地域包括ケア病棟の在宅復帰率については、急性期を経た患者へのリハビリテーションを積極的に行い、入院初期からメディカルソーシャルワーカーが介入し、在宅復帰に向け関係職種と連携して取り組んで。令和6年度上半期における在宅復帰率については89.9%で、わずかに目標を下回っている。</p>				<p>現状の運用を継続しながら、目標達成に向け引き続き取り組んでいく。</p>				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
11	平均在院日数：急性期一般病棟入院料1	日	12	12.0	11.30	12.00	100%	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
急性期一般入院料の平均在院日数については、令和6年度上半期が12日で、目標値をクリアしている。				急性期一般病棟においては、これまでの運用のとおり、検査や手術を行いながら早期在宅復帰に向けて取り組むとともに、地域包括ケア病棟への転棟を行いながら治療継続を行い在宅復帰に向けて治療を継続する流れを今後も継続していく。				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
12	平均在院日数：地域包括ケア病棟入院料2	日	21	45.0	24.40	25.00	43%	B
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
地域包括ケア病棟入院料の平均在院日数については、令和6年度上半期が28日で在院日数は短いものの施設基準はクリアしている。				地域包括ケア病棟の平均在院日数が短くなっている要因については、当該病棟の入院患者において、医師や看護師、リハビリスタッフや管理栄養士等との連携により比較的早期に患者が軽快になり、在宅へ帰すことができている他、救急患者の比較的軽少な患者の経過観察、レスパイト入院により、在宅復帰率が短くなっているものである。				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
14	訪問看護ステーションの立ち上げ	-	-	○	○	○	○	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
改革プランでは、令和6年度中に新規立ち上げを予定していたが、令和6年7月1日に小林市立病院訪問看護ステーションを新規開設した。				今後においては、訪問看護事業を充実させながら、終末期の患者や家族が在宅にて診療を行いたいという希望に応えられるように努力していきたい。				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
15	紹介率	%	45%	50.0%	0.71	0.65	142%	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
令和6年度の上半期の紹介率は、71.4%で目標をクリアしている。 (参考) 地域医療支援病院における紹介率の基準 50%以上				一次医療を提供している医療機関からの紹介については、検査や手術及び入院に繋がることから、医師会とも連携して紹介率の向上に向けて取り組んでいく。				

No	第4章.1.(4)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
16	逆紹介率	%	73%	72.5%	123.5%	110%	169%	S
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
令和6年度の上半期の逆紹介率は、138.6%で目標をクリアしている。 (参考) 地域医療支援病院における逆紹介率の基準 70%以上				紹介された患者が、軽快となった時点で、紹介元の医療機関へ逆紹介を行っている。また、直来の患者や当院での加療が不要となった患者を管内の医療機関へ逆紹介を行っている。				

■経営指標に係る数値目標【第4章.6.(1)】

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
17	経常収支比率	%	102%	97%	120%	92%	123%	B
これまでの取り組み、達成状況等					改善策・今後の取組事項等			
令和6年度の上半期の経常収支比率は、120%で目標をクリアしている。 しかし、上半期集計時には決算時に計上する経費（引当金等）が切り分けて計上できないため、数値上はプラスに計上される。					年度末見込みは92%と目標値の95%となる見込みである。入院患者数の増を目標とするとともに、収益の増に取り組んでいく。			

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
18	医業収支比率	%	87%	85%	117%	81%	137%	B
これまでの取り組み、達成状況等					改善策・今後の取組事項等			
令和6年度の上半期の医業収支比率は、117%で目標をクリアしている。 しかし、上半期集計時には決算時に計上する経費（引当金等）が切り分けて計上できないため、数値上はプラスに計上される。					年度末見込みは81%と目標値の95%となる見込みである。入院患者数の増を目標とするとともに、収益の増に取り組んでいく。			

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
19	修正医業収支比率	%	83%	81%	106%	77%	130%	B
これまでの取り組み、達成状況等					改善策・今後の取組事項等			
令和6年度の上半期の修正医業収支比率は、106%で目標をクリアしている。 しかし、上半期集計時には決算時に計上する経費（引当金等）が切り分けて計上できないため、数値上はプラスに計上される。					年度末見込みは77%と目標値の95%である。入院患者数の増を目標とするとともに、収益の増に取り組んでいく。			

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
22	病床数：地域包括ケア病棟入院料2	床	26	47	47.00	47.00	100%	A
これまでの取り組み、達成状況等					改善策・今後の取組事項等			
計画では、令和6年度に回復期リハビリテーション病棟を地域包括ケア病棟に変更する予定であったが、実施時期を前倒しし、令和6年3月1日に病棟の変更を既に実施済みである。					現状の運用を継続しながら、目標達成に向け引き続き取り組んでいく。			

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
24	平均入院患者数	人/日	92.2	88.0	87.00	88.00	99%	B
これまでの取り組み、達成状況等					改善策・今後の取組事項等			
令和6年度の上半期における平均入院患者数は87人/日で、目標をわずかに下回っている。 (内訳) 急性期一般病棟 55.9人 (56人) 地域包括ケア病棟 30.1人 (31人) ※平均入院患者数については、通常、直近1年間で算出するが、今回は、令和6年4月から9月までの6ヶ月間で算出している。					平均入院患者数については、収益に大きく影響するため、各診療科において入院患者の受け入れを積極的に行いながら目標達成に向けて取り組んでいく。			

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
28	病床稼働率	%	63%	60%	63%	62%	104%	A
これまでの取り組み、達成状況等					改善策・今後の取組事項等			
令和6年度の上半期における病床稼働率は62.8%で、わずかに目標を上回っている。 (内訳) 急性期一般病棟 60.9% 地域包括ケア病棟 66.7%					平均入院患者数の増を目標とするとともに、病床の稼働率向上に取り組んでいく。			

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
32	入院平均単価	円/人/日	47,553	48,089	48,559.00	48,500.00	1.01	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
診療報酬改定に伴い、算定できる施設基準においては届出を行いながら、より質の高い医療を提供できるよう取り組んだ。				現状の体制を維持しながら、手術や検査を中心とした医療の提供を行いながら入院患者や入院単価の増を目指していく。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
37	平均外来患者数	人/日	123.7	125.0	113.00	120.00	90%	B
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
令和6年度の上半期における一日平均外来患者数は113人/日で目標値を12人下回っている。				一次医療と二次医療の役割分担を行っているなかで、初診の患者を制限しているため外来患者数を大幅に増やすことは難しいが、紹介患者等を積極的に受け入れ、年度末に向けて目標を達成するよう取り組んでいく。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
38	平均外来単価	円/人/日	16,011	16,000	16,530.00	16,000.00	1.00	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
年々減少傾向にある。現状では、紹介診療を中心に行っており、外来の患者の減少理由については、コロナ感染症の分類が2類から5類に見直しをされて以降、患者の受診が減ったことによるものと分析している。				現状を維持しながら、内科医（総合診療科の医師を含む。）の確保等により、外来患者の増が見込める。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
40	平均在宅患者数：訪問診療	件/月	-	10	0.60	0.50	12%	C
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
令和6年度の上半期における月当たりの訪問診療件数の実績は、7月に2件のみで、目標値を下回っている。 ※訪問看護ステーションの開設：令和6年7月1日				訪問診療においては、内科医（総合診療科を含む。）が不在のため、積極的に訪問診療を行う体制が整っていない。引き続き、医師確保に取り組むと共に、体制整備を強化する。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
41	平均在宅患者数：訪問看護	件/月	-	20	57.00	60.00	285%	S
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
令和6年度の上半期における月当たりの訪問看護件数は平均57件/月で目標値を上回っている。 ※訪問看護ステーションの開設：令和6年7月1日				訪問件数については、現状を維持できるよう取り組んでいく。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
43	在宅平均単価：訪問診療	円/人/日	-	10,000	-	-	-	C
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
訪問診療においては、現時点で内科医（総合診療科を含む。）の確保ができておらず、訪問診療を積極的に実施する体制が整っていない。				引き続き、県や関連大学に医師派遣のお願いをしながら医師確保に努める。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
44	在宅平均単価：訪問看護	円/人/日	-	6,000	9,307.00	9,000.00	155%	S
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
訪問看護の平均単価については、緊急訪問などの件数が想定より多く、平均単価が計画を上回る結果となった。				今後においても、サービスを受ける患者への積極的支援を行えるよう体制を維持する。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
45	対医業収益給与比率	%	70%	72%	55%	78%	148%	B
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
令和6年度の上半期の医業収支比率は、55%で目標をクリアしている。しかし、上半期集計時には決算時に計上する経費が切り分けて計上できないため、数値上はプラス側で計上される。				年度末見込みは78%と目標値の92%となっている。今後の給与費の増も見込まれるため引き続き入院患者数の増を目標に捉え、収益の増に取り組んでいく。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
46	対医業収益材料費率	%	23%	23%	19%	21%	121%	A
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
令和6年度の上半期の医業収支比率は、19%で目標をクリアしている。しかし、上半期集計時には決算時に計上する経費が切り分けて計上できないため、数値上はプラス側で計上される。				年度末見込みは81%と目標値の95%である。効率的な経費削減に取り組み、年度末に向けて目標を達成するよう取り組んでいく。				

No	第4章.6.(1)	単位	R4 (実績)	R6 (計画)	R6上期 (実績)	年度末見込み	達成率	評価
49	薬剤師増加数	人	-	1	0.00	1.00	0.00	B
これまでの取り組み、達成状況等				改善策・今後の取組事項等				
令和6年度の上半期において薬剤師の募集を行ったが応募者がいなかった。薬剤師は、現在9名在職しており3名が育休などで休暇中である。				現時点では、3回目の病院採用試験時に募集を行う予定である。病棟配置等を行いながら診療体制の強化を図る見込みである。				